

[インデックスに戻る](#)

### 13. 平面ベクトル

#### 13-1. ベクトルの定義と演算

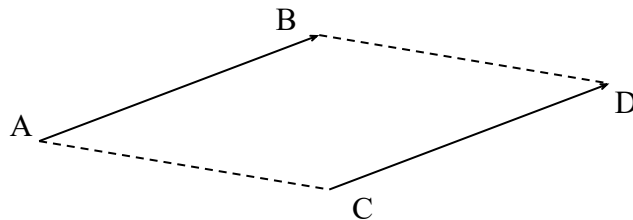
##### 13-1-1. ベクトルの定義と相等

##### 13-1-1-1. ベクトルの定義

線分に向きをつけたものを有向線分という。有向線分  $\overrightarrow{AB}$  において、 $A$  をその始点、 $B$  をその終点といい、その向きは  $A$  から  $B$  へ向かう向きとする。また、線分  $AB$  の長さを有向線分  $\overrightarrow{AB}$  の大きさという。

線分  $AB$  と線分  $BA$  は同じ線分だが、有向線分  $\overrightarrow{AB}$  と有向線分  $\overrightarrow{BA}$  は向きが異なるので、異なる有向線分である。

有向線分の位置の違いを無視して、その向きと大きさだけに着目したものをベクトルという。有向線分  $\overrightarrow{AB}$  を平行移動して有向線分  $\overrightarrow{CD}$  と重ね合わせることができるとき、有向線分  $\overrightarrow{AB}$  と有向線分  $\overrightarrow{CD}$  は位置が異なるので異なる有向線分であるが、ベクトル  $\overrightarrow{AB}$  とベクトル  $\overrightarrow{CD}$  は同じベクトルである。ベクトルは向きと大きさを持つ量である。有向線分  $\overrightarrow{AB}$  で表されるベクトル、すなわちベクトル  $\overrightarrow{AB}$  について、その向きは有向線分  $\overrightarrow{AB}$  の向きとし、大きさは有向線分  $\overrightarrow{AB}$  の大きさとする。つまり、ベクトル  $\overrightarrow{AB}$  の向きは  $A$  から  $B$  へ向かう向き、大きさは線分  $AB$  の長さである。



[インデックスに戻る](#)